



© YOSEIDO PLANNING & PROMOTION CO.,LTD.

08

奨励賞  
YOSEIDO 銀座店

受賞者  
 主 株式会社養生堂企画  
 設計者・施工者 株式会社ベネフィットライン

銀座に白樺の森をつくる

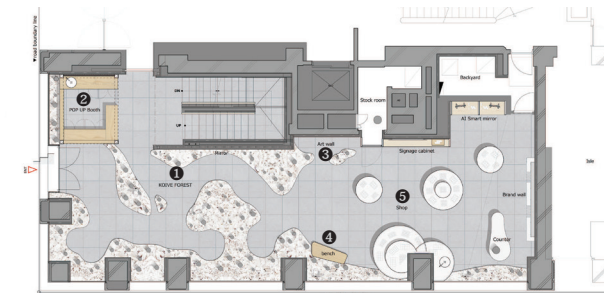
KOIVE という新たなブランドを発信するため、東京の中心地である銀座に白樺の森を再現した。化粧品原材料である白樺樹液は1年のうち雪解け時期のたった2~3週間にしか採取できない貴重な樹液である。採取後は幹に栓をし、次の雪解けに採取するというサステナブルな方法で調達されている。内装には、北海道池田町の白樺丸太をはじめ、多くの白樺材を使用した。従来、主にパルプ材として消費されてきた白樺を内装材に利用することで、白樺に新しい資源としての意味を付与した。さらに、内装材としての利用を終えた後もチップやノベルティとして再利用し、持続的に白樺を活用していくことで、ブランドがもつサステナビリティを表現している。



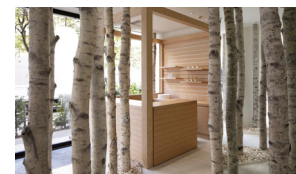
ブランドの発信拠点

▼1F: KOIVEFOREST

メインエントランスから白樺の森を抜けると現れるショップエリアではKOIVE の実際の商品に触れることができる。白樺の森には訪れた人を楽しませる様々な仕掛けをしている。



❶ KOIVE FOREST  
 メインエントランスを入ると、まずは白樺の森が出迎えてくれる。  
 奥が見通せないほどの白樺、そして1F 全体に配置されたサウンドシステムから流れる自然音により、まるで北欧の森に迷い込んだような没入感を演出。  
 白樺の木々にはスマホと連動したデジタルコンテンツや化粧品の主原料である白樺樹液の採取風景を再現したコーナーなど、森を訪れた人を楽しませるコンテンツを用意している。  
 北海道池田町産の白樺丸太を使用。



❷ POPUP BOOTH  
 エントランスのファサードからも見える位置にフィンランドのサウナ小屋を意識したポップアップブースを設けた。他ブランドとのコラボや新商品の発表などその時々にあわせているような用途に使えるような場所としている。仕上げは北海道産の白樺突板を使用している。



❸ ART WALL  
 森の終盤にはメイクアップアーティストサトウケンジ氏によるアートウォールが設置されている。白樺の幹越しに写真撮影ができるフォトスポットを設け、つつい共々したくなるポイントになっている。



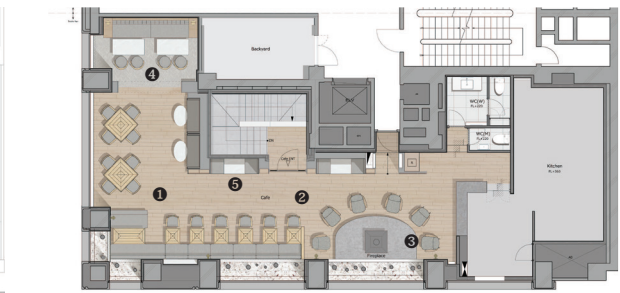
❹ BENCH  
 アートウォールの前には森を抜けた人が一息つけるようなベンチを設けている。ベンチは北海道で製作された特注品で、座面と脚は白樺の無垢材・立上りは白樺樹皮をヒモ状に剥いた樹皮テープを巻きつけている。



❺ SHOP AREA  
 森を抜けると、実際に KOIVE の商品に触れることができるショップエリアがある。正面のブランドウォールは KOIVE のパッケージをイメージしたシェルフになっており、白樺と光が湖畔の水面をイメージした天井の波板に映り込むようになっている。

▼2F: KOIVECAFE

カフェエリアではKOIVE にも使用されている白樺樹液を用いたドリンクなどインナービューティを提供。内装は北欧の湖畔のカフェをイメージし、ゆっくり落ち着ける空間を提供している。



❶ CAFE  
 北欧の湖畔のカフェをイメージした2F は白樺材を豊富に使い、また座間もゆったりと取ることでゆっくり落ち着ける空間を演出した。木製テーブルの天板はもちろん、チェアについても北海道産の白樺材でできたものを中心に使用している。



❷ CAFE  
 窓際には白樺丸太とシアーカーテンを設け、霧のかかった湖畔から見える白樺の森を再現している。また、エントランスドア・壁造り材にも北海道産の白樺突板を使用している。

❸ FIRE PLACE  
 カウンター側の座席には暖炉をイメージしたローチェアを座席を用意した。ゆったりとした大きさの椅子に腰掛けると他の席と視線を変えられることでより落ち着いた時間を過ごすことができる。

❹ HOVEL  
 店の一番奥、白樺材でできたゲートをつくると少し籠もったスペースがある。他とは床材も椅子の意匠も変えることで、少し特別感のある座席とした。

❺ PHOTO SPOT  
 白樺材でできた本棚の中にも座席を作り、通路前でも落ち着けるよう少し籠もったスペースを作った。本棚には1F 同様サトウケンジ氏によるトリックアートを設けて、写真が撮りたくなるコーナーにした。

受賞概要・講評

中央区に所在する美容関係のショップやカフェが内設された店舗。北海道産の白樺を丸太のまま内装材に取り入れたほか、カフェの家具・什器等にも活用している。内装材の白樺は使用後、チップやノベルティとして再利用することによりサステナビリティを表現している。

本作品については「白樺の色味を活かし、女性的で上品な世界となっている点」「銀座の通りから店内が見え、木の普及効果が期待できる点」等が評価された。